

佐世保 卸団地ニュース

発行/佐世保卸団地協同組合 編集/教育広報委員会 〒857-1162 TEL(0956)31-6333

URL <http://www.oroshidanchi.com> E-mail oroshidanchi@bi.wakwak.com

就任のご挨拶



組合事務局
事務局長補佐

山口 啓 二

この度、令和8年1月付で十八親和銀行から出向し、佐世保卸団地協同組合の事務局長補佐を拝命いたしました山口啓二でございます。私は佐世保市で育ち、日野小、相浦中、佐世保北高、そして福岡大学経済学部を卒業いたしました。現在は瀬戸越に居を構えております。昭和42年12月26日生まれの58歳。生粋の佐世保人として、再び地元経済を支える本組合の運営に携われることを大変光栄に感じております。

私の社会人人生は、平成3年の親和銀行入行から始まりました。最初の配属先は島原支店。奇しくも雲仙・普賢岳の大噴火災害に見舞われた年であり、混乱の中で地域の皆様のために奔走した経験が私の原点となっております。その後、西大村、佐賀県の鹿島、唐津、地元の大宮、大村、そして最後は再び島原支店の支店長を歴任させていただきました。また、銀行業務以外にも、従業員組合での専従活動、半導体製造会社や運送会社への出向経験など、多角的な視点で現場を見る機会にも恵まれました。

さて、当組合は今年、記念すべき創立60周年を迎えます。この長い歳月の間、幾多の時代の荒波を乗り越え、卸団地の礎を築いてこられた先人の皆様の情熱やご苦労を日々学ばせていただいております。ただただ頭が下がる思いです。夏祭りやボウリング大会、ソフトボール大会、ゴルフ大会といった「絆」を深める恒例行事が、今もこれほど活気に満ちているのは、組合員の皆様が伝統を大切に繋いでこられた証だと感動しております。

私生活では、千葉に住む2人の孫を溺愛する「じいじ」でもあります。学生時代は野球部で白球をがむしゃらに追いかけました。今はゴルフ(特技と言いたいです)やハウステンボス散策を兼ねたウォーキング、そしてサウナで「整う」時間が何よりの幸せです。

私のモットーは「向き不向きより前向き」です。財務や施設管理、会議や行事の運営など、事務局の皆様から「ご教示いただきながら、一日も早く「戦力」として「仲間」として認めていただけるよう、明るく元気に前向きに取り組んでまいります。まだまだ至らぬ点も多々あるうかと思いますが、何卒温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新年懇親会

1月19日、セントラルホテル佐世保において新年懇親会が開催された。まず橋高理事長が挨拶をされ、続いて組合員の今年の賀寿者が紹介された。賀寿の皆さんには橋高理事長よりお祝いの品が贈呈され、代表して喜寿の城山物産橋口会長が謝辞を述べられた。次に来賓紹介があり、代表して県北振興局長・大瀬良潤様と佐世保市長・宮島大典様より祝辞を頂いた。そして、十八親和銀行専務執行役員・野中宏之様による乾杯のご発声で宴の時間が始まった。

歓談で賑わいを見せる中、宴も後半に入るところでアトラクションが始まった。今回は、佐世保のエレキバンド「シルバー・ボーイズ」が登場！エレキギターが奏でる懐かしのサウンドが会場に響き渡った。更に、全員参加による恒例のビンゴゲームが行われ、賞品の長崎和牛争奪戦で会場は盛り上がりを見せた。そして盛会のうちに、商工中金長崎支店長兼県内統轄・丸岡靖様の万歳三唱で新年懇親会の中締めとなった。

◆ ご紹介 ◆

所 属	組合事務局 (十八親和銀行より出向)
役 職	事務局長補佐
氏 名	山口 啓 二
出 身 地	佐世保市
入社年月日	令和8年1月
最終学歴	福岡大学



橋高理事長



県北振興局・大瀬良局長



佐世保市・宮島市長



十八親和銀行・野中専務



商工中金・丸岡支店長兼県内統轄



賀寿者の皆さん



ビンゴゲーム



アトラクション

”祝“二十歳!! ① 二十歳の抱負



九州ワーク
尾崎 大翔

二十歳という大きな節目を迎え、改めて家族や周りの方々への感謝を伝えたいです。どんな時でも支え信頼して下さった皆様のおかげで社会人として生きていく事ができています。社会人2年目となり、1年目の自分よりも多くの仕事を任せられるようになりました。まだまだ時間がかかってしまう事や自信を持ってない事もあります。

私は、これからも社会人として失敗を恐れず、諦めない気持ちを持って仕事に向き合っていきます。自分を信じて下さっている皆様の為にも日々精進していきます。「昨日の自分より今日の自分」と成長する姿を皆様にお見せできるように頑張っていきます。



和信産業
濱崎 海里

この度、無事に成人式を迎えることができ大変嬉しく思います。今日まで私を育ててくれた両親、支えてくれた皆様に心から感謝しています。私は、成人式のあと神社にお参りし、二十歳になったことの報告、祈願をしました。そのあとに引いたおみくじには「時には転んでもよい転ぶたびに起き上がるのが大事だ」と記されていました。この1年で大切であり、必要だと感じていることでした。

これから先色んな困難に直面すると思いますが、それら乗り越え成長していけるよう頑張ります。これからも私を支えてくれる人への感謝を忘れず、今度は自分が返せるよう行動して参ります。



高橋 美姫
橋村 美姫

二十歳という節目を迎え、改めて周りの方々に支えられていることを実感しました。社会に出て未熟なところばかりで不安でしたが、家族はもちろん、会社の先輩方や上司の方々のご指導のおかげで、今は自信をもって仕事に励むことが出来るようになりました。

その感謝を忘れず日々の業務に励み、これからも成長した姿をお見せできるように、努力を重ねていきます。たくさんの方との出会いや経験を大切にしながら、笑顔を忘れず、楽しい人生にしていきたいです!



※2月号と3月号に分けて全員分を掲載いたします。

「3ヶ月ウォーキング」終了

昨年9月19日から始まった卸団地「3ヶ月ウォーキング」が12月18日で終了した。今年度から新たに始まったこの企画は、15社から142名(男性80名・女性62名)がエントリーして期間中の総歩数を競った。結果は次の通りである。

◆ 成績表 ◆

【女性】				
順位	氏名	所属	1日平均歩数	
優勝	米倉 桂子	下田商事	16,542	
準優勝	田島 広子	橋 高	13,319	
3位	長田かおり	下田商事	11,264	

【男性】 ~50歳以上~				
順位	氏名	所属	1日平均歩数	
優勝	山田雄一郎	長崎共和	13,934	
準優勝	井本 仁司	橋 高	10,954	
3位	田口 尊章	エフピー	10,615	

【男性】 ~50歳未満~				
順位	氏名	所属	1日平均歩数	
優勝	来山 拓朗	エフピー	14,167	
準優勝	佐村 一也	橋 高	14,099	
3位	幸島 健太	九州ワーク	12,459	

長崎県中小企業団体中央会青年部 創立50周年記念大会

昨年11月21日、ヒルトン長崎において、長崎県中小企業団体中央会青年部の創立50周年記念大会が開催された。県内外から約80名が集い、記念講演会、記念式典、記念祝賀会の3部構成で盛大に執り行われ、佐世保卸団地青年部からは組合事務局の前田次長が参加した。

佐世保卸団地青年部も所属している長崎県中小企業団体中央会青年部は、組合組織の活性化や経営者育成などを目的に昭和50年11月に創立。県内の事業協同組合の若手経営者らで構成され、組合青年部



人を思う。未来を思う。
商工中金

佐世保支店
TEL 23-8141

消 防 訓 練

(組合会館 / レクミティセンター)

昨年11月25日、組合会館とレクミティセンターで消防訓練が行われた。組合会館では事務局と簡易郵便局の職員が、レクミティセンターではマルゲリータの従業員が参加した。自動火災報知設備の仕組み・操作について確認したあと、想定した出火場所の熱感知器を動作させて非常ベルを鳴らし、自動火災報知器受信機での出火場所確認、火元



組合会館の訓練



レクミティセンターの訓練

12月定例昼食会

昨年12月1日、定例昼食会が開催された。今回は、永田モバイルの川頭純也氏を招いて、ドコモ法人向け端末レンタルサービス、OCN光の高品質インターネット接続サービス等について講話いただいた。



セミナーの様子



企業説明会の様子



団地内剪定作業

昨年11月中旬〜12月上旬、団地内で樹木・植木の剪定作業が行われた。今回は、組合会館及び組合所有物件をはじめ、申込みがあった組合員4社分の剪定作業を実施した。組合では、団地内美化整備の一環で年に2回剪定を希望する組合員を募り、業者に依頼して樹木・植木の剪定を行っており、次回は6月中旬頃を予定している。



高度外国人材採用セミナー 留学生対象企業説明会

昨年11月14日、アジア各国から多くの留学生が在籍している長崎国際大学の協力のもと、組合会館において高度外国人材採用セミナーが行われ、組合員2社が参加した。講師にオールアドバンス・代表取締役の綾戸高志氏を迎え、留学生の採用から育成、定着に至るまでのポイントを講話して頂いた。

その続編で1月16日、日本で就職を希望する同大学の留学生4名を迎え入れて企業説明会が行われ、組合員2社が参加した。前半は各社からの会社説明、後半は留学生が2班に分かれて個別の説明会が行われた。対面で直接話ができる機会とあって質疑応答も頻繁に交わされ、双方が一層の理解を深めて有益な場となった。

卸団地あれこれ

「佐世保卸団地協同組合 3 回目の危機について」(その1)

当組合の浦山前理事長によると、昭和39年の卸団地構想から現在まで、当組合には過去3回の危機があった。今月よりこの3回目の危機について深掘りしていく。まずは1回目と2回目の危機のおさらいから始める。

1回目の危機は昭和41年に遡る。団地開発のための借入金は組合員全員の連帯保証を行い、さらに投資額の20%を自己資金として積み立てを始めることとしたら、様子見の参加者が脱落して40社ぐらいいまでに減少した。そのような中、初代理事長、2代目理事長が9ヶ月のうちに相次いで急逝された。まさにこの時が1回目の危機であった。そこで繊維協会の若手死にそうにない42歳だったしほりやの松尾恒司社長が理事長に推挙された。繊維協会は長老を始め、皆で支えたのは勿論だった。

2回目の危機は昭和42年に起こった。3代目の松尾理事長のもとで卸団地の候補地を探し始めたが、3ヶ所の候補地の条件が合わず消えていった。現在の光栗地区が駄目だったら、組合も解散する覚悟で土地売買交渉に臨んだ。佐世保市長や3人の市議の応援を得て、昭和44年1月15日の真夜中12時を過ぎた頃に交渉が成立した。この後造成工事も進み、資金繰りなど紆余曲折はあったものの、無事卸団地は完成した。

3回目の危機は、平成16年度から平成22年度にかけて組合員の大規模倒産が相次いだ時である。平成21年度、平成22年度には赤字決算を行い、組合の危機は最大となった。組合は金融事業を行っていたため、組合員が倒産すると多大な貸し倒れが発生させたのである。

金融事業は組合員への資金供給の面で定の役割を果たしてきたが、土地価格の下落による金融枠の縮小は、それまで右肩上がりに金融枠が増加し続けた金融事業に冷水を浴びせた。当時の当組合の金融枠は土地評価である公示価格×組合員の所有土地面積と建物の固定資産税評価額を合算すると規定していたので、土地の公示価格が下落すると金融枠が縮小するという影響を受けた。

平成16年3月末の当組合の借入残高は設備資金73百万と金融事業の転貸資金55億25百万の合計55億98百万であった。この時点で倒産跡地借入資金の残高はなかった。歴代の理事長、副理事長はこの金額に対して連帯保証をされていたが、思うに、余りにも保証人負担が過大である。平成22年9月に連帯保証は解除されることになるが、それは後述する。

土地価格が右肩上がりに上昇する場合は、新しい組合員を迎えて、その組合員が倒産した不動産を買い取り、組合は売買代金で転貸資金を回収することが出来た。しかし土地価格が下落局面ではその手法が使えなかった。というのも転貸を抱えて倒産した組合員の多くは業況が不良なので金融枠一杯に借入を行ったが、そして、不動産価格が右肩下がり局面では時の経過とともに時価と金融枠の乖離が大きくなり、組合は時価で売却すると損失が発生する状況になったため、安易に売却できなくなった。

新年賀詞交歓会

1月5日、組合会館にて恒例の新年賀詞交歓会が行われ、来賓及び組合員の代表者等36名が参加した。橋高理事長の新年挨拶で始まり、続いて3ヶ月ウォーキングの表彰と新二十歳の記念品贈呈が行



十八親和銀行・山川頭取

われた。そして、十八親和銀行の山川信彦頭取による乾杯のご発声で歓談が始まり、最後は商工中金佐世保支店の宮川支店長による万歳三唱で交歓会が終了した。



主な組合行事予定 (令和8年2月~令和8年12月)

- 【2月】第53回ボウリング大会(20日金) 普通救命講習(24日火)
- 【3月】観桜会(30日月)
- 【4月】新入社員教育講座(8日水) 献血(未定)
- 【5月】通常総会・同懇親会(18日月) 第12回絆づくりゴルフコンペ(23日土)
- 【7月】卸団地夏祭り(24日金)
- 【8月】第15回絆づくりボウリング大会(21日金)
- 【9月】定期健康診断(8日火)~10日(水) 組合60周年記念式典・祝賀会(11日金) 第55回ソフトボール大会(未定)
- 【10月】防災管理委員会(未定) 献血(未定)
- 【11月】インフルエンザ集団予防接種(未定) 外国人材採用セミナー(未定) 第34回ゴルフコンペ(未定)

※定例昼食会は、1・5月を除く毎月第1月曜に開催予定
※全員協議会は、4・6・9・11・3月の第3月曜に開催予定

◆予定している各種行事は、諸事情によって延期もしくは中止になる場合があります。



あなたのいちばんに。



十八親和銀行

佐世保卸団地協同組合さま

組合員企業さま特典

祭壇 御柩 骨壺

20%引き

社員さまの

ご家族も契約割引が適用できます!

2親等の方(配偶者含む)まで幅広く適用されています。

最新情報満載

ホームページをご利用ください。



法倫會館 大塔斎場

〒857-1161

佐世保市大塔町 616 番 18 号



0120-53-4040

敷内薬品の「薬用パーフェクトジェルクリーム(オールインワンジェル)」を4名にプレゼント!!

- 問題** ルールに従って全ての空きマスに数字を埋めてください。最後に(A)マスと(B)マスに入った数字を足してください。
- ルール** タテ9列、横9列のそれぞれに1~9の数字が1つずつ入ります。3×3の太線で囲まれたブロックの中にも1~9の数字が1つずつ入ります。

答え

(A)

 +

(B)

 =

--

9				6		1	3
		4				7	
	(A)						9
6			8				
3	4		7	1		8	
		5	9				
						3	6
	2			7	5	4	1
5				3	2	(B)	

- ★正解者の中より抽選で4名の方に標題の景品をさし上げます。当選者の発表は、卸団地ニュース第584号にて発表、掲載致します。
- ★応募方法…住所氏名・電話番号・会社名を(ハガキサイズ)ご記入のうえ、組合会館へ直接お持ち頂くか、又は郵送して下さい。
- ★応募メ切…2月27日まで必着有効
- ★応募先…佐世保市卸本町12-2 佐世保卸団地協同組合
- ★前回のクイズは応募総数98名中全員正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名の方に、コンビニなどで使える「QUOカード(2,000円分)」をさし上げます。
岩佐裕子(藤村薬品)・山本信一郎(大松)・宮崎尚哉(チョープロ)・古賀栄子(橋高)
中村美姫(橋高)・浦奈津子(日本エコネット)・原 真理(日本エコネット)
津田微香(オークどうぶつ病院)・川崎元気(オークどうぶつ病院)
石崎隆志(ほっともっと卸本町店) *組合へ受取にお越し下さい。